

大切にしたい歴史

名勝「ピリカノカ 九度山 (クトゥンヌプリ)」

History We Value 1 Scenic Spot Mt.Kudo (Kutonnupri in Ainu)

平成21年7月23日 文部科学大臣指定



秋



冬



所在地 名寄市字日進、智恵文
指定面積 5.2 ha

ピヤシリスキー場のある九度山(くどさん)山頂部一帯は、平成21年7月23日に日本国にとって芸術上また観賞上価値の高いものとして文部科学大臣から指定された第1号の名勝です。

ピリカノカとは、アイヌ語で「美しい形」を意味し、アイヌの物語や伝承、祈りの場、言葉に彩られた優秀な景勝地群を総称するものです。

九度山(くどさん)は、山頂部の地形からアイヌ語で「クトゥンヌプリ」(岩崖のある山)が山名の由来です。別名「チノミシリ」(我々がまつる山)とも呼ばれ、東側の切れ落ちた山の形と山頂の岩崖がアイヌの人たちの日々の祈りの対象であり、狩猟などで野山に入る時に目印の山ともなり大切な存在として伝承されてきました。

また、現在ではスキー場の他、登山道を利用した自然探訪など、四季を通して多くの方に利用され親しまれています。